

## 提出書類チェックシート

- \* 提出書類について欠落がないかチェックの上、本状も提出願います。  
本チェックシートは、応募 1 件につき 1 枚のシートでチェックして下さい。

プログラム	我が国の国際的リーダーシップの確保 「我が国の科学技術活動の国際的リーダーシップの確保」
-------	---

課 題 名	
-------	--

事務書類	
提出書類チェックシート（本用紙） 提案書類受領通知はがき 1 枚（メール送付の場合は不要）	本用紙 切手貼付済み官製葉書

提案書類（日本語で記述）		
表紙	1 頁	（様式任意）
提案書	2 頁	様式 5 - 1
課題構想・概要	1 頁	様式 5 - 2
課題構想・詳細	-	様式 5 - 3
課題内容	-	様式 5 - 4
課題実施体制・所要経費概算	1 頁	様式 5 - 5
所要経費の見込額	1 頁	様式 5 - 6
研究者データ	-	様式 5 - 7 及び別紙
機関データ	-	様式 5 - 8

全てA4版とし、正確を期すため、ワープロ等判読しやすいもので作成、記述して下さい。

表紙には、プログラム名、課題名、代表者名・所属機関名、中核機関名を記述して下さい。

提案書類には通し番号（表紙から 1 / とし、以降 2 / 、3 / とする通しページ）を右下に必ず打って下さい。

上記の提案書類については、それぞれ左肩をクリップ止めにして、4部提出願います。なお、その際に両面コピーは認められません。

様式 5 - 3 から 5 - 4 及び 5 - 7 から 5 - 8 については、特に枚数に制限はありませんが、できるだけ簡潔かつ明瞭に記述して下さい。

(様式5 - 1)

提案書  
(我が国の国際的リーダーシップの確保)  
(「我が国の科学技術活動の国際的リーダーシップの確保」)

1 代表者・中核機関

代 表 者	ふりがな 提案者名		生年月日	西暦19 年 月 日 ( 歳 ) * 2004年4月1日現在の年齢
	機関・所属部署名			役職名
	ふりがな 所在地	〒 - 県 市 町 - -		
		TEL.		FAX.
		E-mail:		
所属機関 の産学官	所属機関が「産」「学」「官」のいずれに該当するか記述して下さい。(独法、国研=「官」、大学=「学」、民間=「産」)		エフォート(年間全業務時間を100%とした際の当該業務に割く時間配分率) %	
中核機関	ふりがな 機関名			
	ふりがな 所在地	〒 - 県 市 町 - -		
		TEL.		FAX.
		E-mail:		
中核機関 の産学官	所属機関が「産」「学」「官」のいずれに該当するか記述して下さい。(独法、国研=「官」、大学=「学」、民間=「産」)			
事務連絡 担当者 (当該担当者に審査結果等 全ての連絡をいたします)	ふりがな 担当者名		役職名	
	機関・所属部署名			
	事 務 連 絡 先 (当該連絡先に審査結果等全 ての連絡をいたします)	〒 - 県 市 町 - -		
		TEL.		FAX.
E-mail:				

## 2 提案課題

課題分類	課題 1 先端科学技術全般の国際社会への受容の促進に資するもの または 課題 2 アジア諸国等とのパートナーシップの強化につながるものを記述
------	--

課題名 (20字以内の題名)		(課題名は20字以内とし、サブタイトルは付けないこと。また、提案後、課題名の変更は基本的に認めない。)			
	番号	研究区分		番号	研究キーワード
主分野	別添1より 1つ記述	別添1より1つ記述	研究 キ ー ワ ー ド		別添2より該当するものを5つまで記述。
副分野		別添1より主分野と異なるものを3つまで記述。			

- 3 業務実施予定期間（原則3年以内） 財務省の承認日(7月目途)から業務開始の予定  
 なお、業務終了は年度末とする。  
 平成16年7月～平成 年3月まで

- 4 経費の見込額（概算）  
 初年度 百万円、総額 百万円

(様式 5 - 2 )

課題構想・概要 ( A 4 用紙 1 枚まで )

課題名 「 」  
代表者名 ( 所属機関名 ) 「 ( ) 」  
中核機関名 「 」

課題の目標・概要

1 . 目的

- ・当該課題がどのような観点において、我が国がリーダーシップを発揮することが適当であり、国際社会における持続的な協力関係を作り上げられる国際的に重要な課題であるかについて記述

2 . 内容

- ・課題の実施について、手法も含め簡潔に記述  
課題 1 に提案する場合は、分野 ( 特定の分野に偏らず科学技術全般について取り組むものか )、地域 ( 特定の地域に偏らずグローバルなものであるか ) についても記述

3 . アジア諸国とのパートナーシップの観点 ( 課題 2 に提案する場合に記述 )

- ・当該課題の実施により、どのようにしてアジア諸国とのパートナーシップの強化に反映させるのかを簡潔に記述

4 . 複数機関間連携の必要性

- ・当該課題の実施がどのような視点で、複数機関の連携を必要とするのかを簡潔に記述

5 . 推進委員会を構成する機関・組織等

- ・推進委員会を構成する機関・組織等の名称を記述

諸外国の現状等

1 . 現状

- ・当該課題における諸外国の取組の現状を記述

2 . 我が国の水準

- ・同様の課題に対する諸外国と我が国との比較を具体的 ( 遅れているのか、進んでいるのか等 ) に記述

課題の実施により期待される効果

- ・当該課題の実施により、我が国の国際的リーダーシップの発揮に向け、どのような貢献が期待されるか具体的に記述

( 様式 5 - 3 )

課題構想・詳細

課題名	「		」
代表者名(所属機関名)	「	(	)」
中核機関名	「		」

以下の項目毎に整理して記述して下さい。

- 1 課題実施の目的について
  - ・課題実施が必要となっている国際的情勢
  - ・背景の記述を踏まえ、どのように我が国が主体性を発揮していくのかを具体的に記述して下さい。
  
- 2 推進委員会の設置について

当該課題の実施の内容から、どのような研究者、研究機関、NGO、学協会、研究グループ、その他(マスコミ、消費者団体等)から構成される推進委員会を設置するのかについて記述して下さい。(単一の研究コミュニティだけでなく、複数機関の連携が可能である構成とすること)
  
- 3 「国際的リーダーシップの確保」で当該課題を実施する必要性
  - (1) 当該課題の国際的重要性について
  
  - (2) 諸外国との比較優位性について

当該課題に関して、諸外国と日本との取組状況の違いについて記述して下さい。
  
  - (3) 分野・地域性について(課題1に提案する場合に記述)

当該課題が特定の分野に偏らず科学技術全般について取り組むものであるか、また特定の地域に偏らずグローバルなものであるかについて記述して下さい。
  
  - (4) アジア諸国との連携について(課題2に提案する場合に記述)

当該課題の実施が、どのようにアジア諸国とのパートナーシップの強化に反映させるのかを記述して下さい。
  
  - (5) 連携先相手国研究機関・組織について

当該課題の実施にあたり、連携先相手国研究機関の名称、連携内容について記述して下さい。
  
- 4 提案にいたる準備・調査等について
  
- 5 課題実施の波及効果について

当該課題の実施により、我が国の国際的リーダーシップの発揮に向け、どのような貢献が期待されるか具体的に記述して下さい。

(様式 5 - 4)

課題内容

課題名 「 」  
代表者名(所属機関名) 「 ( ) 」  
中核機関名 「 」

〔 グループを構成する機関・組織等毎に、それぞれの担当者(氏名・年齢)を明記し、それぞれの機関・組織等における活動内容の概要を具体的かつ分かりやすく記述して下さい。 〕

( 1 ) 機関・組織名  
担当者名(年齢)

( 活動内容記述 )

・ ・ ・ ・  
・ ・ ・ ・  
・  
・

( 2 ) 機関・組織名  
担当者名(年齢)

( 活動内容記述 )

・ ・ ・ ・  
・ ・ ・ ・  
・  
・

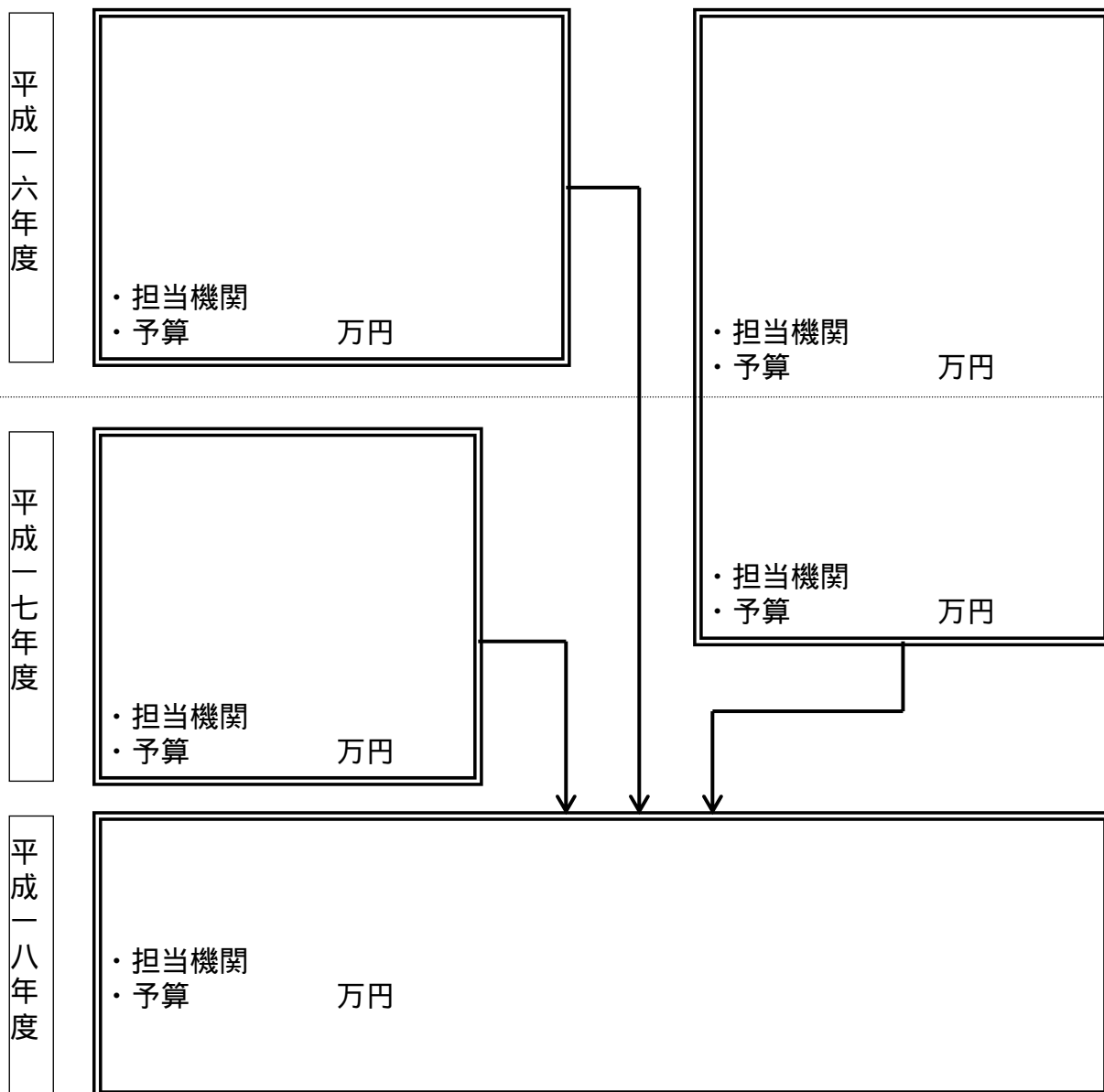
(様式 5 - 5)

課題実施体制・所要経費概算

課題名 「  
代表者名(所属機関名) 「 ( )」  
中核機関名 「 」

(機関・組織等毎の課題実施の分担と実施期間、予算配分(概算)を図示しつつ明確に記述して下さい。)

「課題名」



期待される効果  
1 .  
2 .

(様式 5 - 6)

所要経費の見込額

課題名 「 」  
代表者名(所属機関名) 「 ( ) 」  
中核機関名 「 」

(単位:百万円)

経費の内容	年 度			総 額
	16年度	17年度	18年度	
例) ( 大学 )	15	15	15	45
・・・会議開催	10	10	10	30
・・・の招へい	5	5		
( 研究所 )	42			
・・・会議開催	20			
・・・WS開催	12			
日本人研究者派遣	10			
( 総合研究所 )	15			
・・・の調査	15			
計	72			

注) 所要経費について、別添3を参考に参画機関毎に大まかな内訳を記述すること。



(様式5 - 7)

**研究者データ**  
(当該課題に参画する全ての研究者について作成)

ふりがな 氏名		生年月日	西暦19 年 月 日 ( 歳) * 2004年4月1日現在の年齢	
所属機関	ふりがな 所在地	〒 - 県 市 町 - Fax. E-mail:		
	機 関 名 所属部署		役 職 名	
研究歴	最終学歴	昭和 年 大学 学部卒業		
	学位	昭和 年 博士号( 学)取得( 大学)		
	主な職歴 と 研究内容	(記述例) 昭和 年 ~ 年 大学 学部助手 について研究 昭和 年 ~ 年 大学 学部 研究員 に関する研究に従事 昭和 年 ~ 年 大学 学部教授 について研究		
	関連分野 における 研究内容	(記述例) 平成 年 ~ 年 科学技術振興調整費委託研究 について研究		
特記すべき国際活動 実績	(記述例) 平成 年 国際学会において発表 平成 年 ~ 年 米国 機関と共同研究の実施			
研究成果等に関する 情報	必要に応じ、別紙に記述のこと			

(様式5 - 7・別紙)

## 研究成果等に関する情報

### 1. 論文・著書等

- ・提案課題の内容に限り、これまでに発表した論文(査読制度のあるジャーナル掲載に限る)、著書(教科書、学会抄録、講演要旨は除く)等を新しいものから順に発表年次をさかのぼって記述して下さい。
- ・主要なものを選定し、1ページ以内に収めて下さい。

#### 論文

(論文名、著者名、巻(号)、投稿誌名、最初の頁、発表年(西暦))

#### 著書

(タイトル、著者、著書名、最初の頁、出版社、出版社の所在都市名、発表年(西暦))

#### 学協会誌等

(タイトル、著者、学協会誌等名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦))

### 2. 特許等(申請中のものについては内数として括弧内に記述)

国内特許	件( 件)	国外特許	件( 件)
------	-------	------	-------

- ・主要な特許について、特許名、特許番号、取得または出願年月日を記述して下さい。  
(出願・広告等の日付、「発明の名称」、発明者氏名、出願人名、国名、特許等の番号・種類の順)  
1. \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_, 特願 0000-00

### 3. 受賞歴、表彰歴

- ・主要なものについて、年月日、受賞名等を記述して下さい。  
(受賞者名:「件名」、受賞等年月日等の順)  
1. \_\_\_\_\_:「 \_\_\_\_\_ », 2000.0.0

( 様式 5 - 8 )

### 機関データ

( 中核機関 ( ただし行政機関の場合は除く ) に関する以下の情報について記述して下さい。 )

何れの項目も概略で構いません。( 詳細なパンフレットの添付は不要です )

- 1 . 機関名
- 2 . 機関長名
- 3 . 在籍する総職員数 ( 概数で構いません )

- 4 . 主な国際活動実績
  - ・ これまでに実施した国際活動の概要及び実施時期について記述して下さい。  
( 詳細な内容に関する記述は不要です。 )

実施時期	国際活動の概要

- 5 . 中核機関以外に参画する機関・組織等の国際活動実績について
  - ・ 参画する中核機関以外の機関・組織がこれまでに実施した国際活動の概要及び実施時期について記述して下さい。( 詳細な内容に関する記述は不要です。 )

機関又は組織名	実施時期	国際活動の概要

(別添1)

政府研究開発データベース・重点研究分野コード表

番号	重点研究分野	研究区分
101	ライフサイエンス	ゲノム
102	ライフサイエンス	医学・医療
103	ライフサイエンス	食料科学・技術
104	ライフサイエンス	脳科学
105	ライフサイエンス	バイオインフォマティクス
106	ライフサイエンス	環境・生態
107	ライフサイエンス	物質生産
189	ライフサイエンス	共通基礎研究
199	ライフサイエンス	その他
201	情報通信	高速ネットワーク
202	情報通信	セキュリティ
203	情報通信	サービス・アプリケーション
204	情報通信	家電ネットワーク
205	情報通信	高速コンピューティング
206	情報通信	シミュレーション
207	情報通信	大容量・高速記憶装置
208	情報通信	入出力 *1
209	情報通信	認識・意味理解
210	情報通信	センサ
211	情報通信	ヒューマンインターフェイス評価
212	情報通信	ソフトウェア
213	情報通信	デバイス
289	情報通信	共通基礎研究
299	情報通信	その他
301	環境	地球環境
302	環境	地域環境
303	環境	環境リスク
304	環境	循環型社会システム
305	環境	生物多様性
389	環境	共通基礎研究
399	環境	その他
401	ナノテク・材料	ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等)
402	ナノテク・材料	ナノ物質・材料(構造材料応用等)
403	ナノテク・材料	ナノ情報デバイス
404	ナノテク・材料	ナノ医療
405	ナノテク・材料	ナノバイオロジー
406	ナノテク・材料	エネルギー・環境応用
407	ナノテク・材料	表面・界面
408	ナノテク・材料	計測技術・標準
409	ナノテク・材料	加工・合成・プロセス
410	ナノテク・材料	基礎物性
411	ナノテク・材料	計算・理論・シミュレーション
412	ナノテク・材料	安全空間創成材料
489	ナノテク・材料	共通基礎研究
499	ナノテク・材料	その他

番号	重点研究分野	研究区分
501	エネルギー	化石燃料・加工燃料
502	エネルギー	原子力エネルギー
503	エネルギー	自然エネルギー
504	エネルギー	省エネルギー・エネルギー利用技術
505	エネルギー	環境に対する負荷の軽減
506	エネルギー	国際社会への協力と貢献
589	エネルギー	共通基礎研究
599	エネルギー	その他
601	製造技術	高精度技術
602	製造技術	精密部品加工
603	製造技術	高付加価値極限技術(マイクロマシン等)
604	製造技術	環境負荷最小化
605	製造技術	品質管理・製造現場安全確保
606	製造技術	先進的ものづくり
607	製造技術	医療・福祉機器
608	製造技術	アセンブリプロセス
609	製造技術	システム
689	製造技術	共通基礎研究
699	製造技術	その他
701	社会基盤	異常自然現象発生メカニズムの研究と予測技術
702	社会基盤	災害被害最小化応用技術研究
703	社会基盤	超高度防災支援システム
704	社会基盤	事故対策技術
705	社会基盤	社会基盤の劣化対策
706	社会基盤	有害危険・危惧物質等安全対策
721	社会基盤	自然と共生した美しい生活空間の再構築
722	社会基盤	広域地域研究
723	社会基盤	水循環系健全化・総合水管理
724	社会基盤	新しい人と物の流れに対応する交通システム
725	社会基盤	バリアフリー
726	社会基盤	ユニバーサルデザイン化
789	社会基盤	共通基礎研究
799	社会基盤	その他
801	フロンティア	宇宙科学(天文を含む)
802	フロンティア	宇宙開発利用
821	フロンティア	海洋科学
822	フロンティア	海洋開発
889	フロンティア	共通基礎研究
899	フロンティア	その他
900	人文・社会	
1000	自然科学一般	

\*1: 情報通信システムとの入出力を容易にする技術。  
ただし、研究区分番号209~211を除く。

(別添2)

研究キーワード候補リスト

番号	研究キーワード	番号	研究キーワード	番号	研究キーワード
1	遺伝子	44	暗号・認証等	87	環境分析
2	ゲノム	45	セキュア・ネットワーク	88	公害防止・対策
3	蛋白質	46	高信頼性ネットワーク	89	生態系修復・整備
4	糖	47	著作権・コンテンツ保護	90	環境調和型農林水産
5	脂質	48	ハイパフォーマンス・コンピューティング	91	環境調和型都市基盤整備・建築
6	核酸	49	ディベンダブル・コンピューティング	92	自然共生
7	細胞・組織	50	アルゴリズム	93	政策研究
8	生体分子	51	モデル化	94	磁気記録
9	生体機能利用	52	可視化	95	半導体超微細化
10	発生・分化	53	解析・評価	96	超高速情報処理
11	脳・神経	54	記憶方式	97	原子分子処理
12	動物	55	データストレージ	98	走査プローブ顕微鏡(STM、AFM、STS、SNOM、他)
13	植物	56	大規模ファイルシステム	99	量子ドット
14	微生物	57	マルチモーダルインターフェース	100	量子細線
15	ウイルス	58	画像・文章・音声等認識	101	量子井戸
16	行動学	59	多言語処理	102	超格子
17	進化	60	自動タプ付け	103	分子機械
18	情報工学	61	バーチャルリアリティ	104	ナノマシン
19	プロテオーム	62	エージェント	105	トンネル現象
20	トランスレーショナルリサーチ	63	スマートセンサ情報システム	106	量子コンピュータ
21	移植・再生医療	64	ソフトウェア開発効率化・安定化	107	DNAコンピュータ
22	医療・福祉	65	ディレクトリ・情報検索	108	スピンエレクトロニクス
23	再生医学	66	コンテンツ・アーカイブ	109	強相関エレクトロニクス
24	食品	67	システムオンチップ	110	ナノチューブ・フラレン
25	農林水産物	68	デバイス設計・製造プロセス	111	量子閉じ込め
26	組換え食品	69	高密度実装	112	自己組織化
27	バイオテクノロジー	70	先端機能デバイス	113	分子認識
28	痴呆	71	低消費電力・高エネルギー密度	114	少数電子素子
29	癌	72	ディスプレイ	115	高性能レーザー
30	糖尿病	73	リモートセンシング	116	超伝導材料・素子
31	循環器・高血圧	74	モニタリング(リモートセンシング以外)	117	高効率太陽光発電材料・素子
32	アレルギー・ぜんそく	75	大気現象	118	量子ビーム
33	感染症	76	気候変動	119	光スイッチ
34	脳神経疾患	77	水圏現象	120	フォトニック結晶
35	老化	78	土壌圏現象	121	微小共振器
36	薬剤反応性	79	生物圏現象	122	テラヘルツ/赤外材料・素子
37	バイオ関連機器	80	環境質定量化・予測	123	ナノコンタクト
38	フォトニックネットワーク	81	環境変動	124	超分子化学
39	先端的通信	82	有害化学物質	125	MBE、エピタキシャル
40	有線アクセス	83	廃棄物処理	126	1分子計測(SMD)
41	インターネット高度化	84	廃棄物再資源化	127	光ピンセット
42	移動体通信	85	大気汚染防止・浄化	128	(分子)モーター
43	衛星利用ネットワーク	86	水質汚濁・土壌汚染防止・浄化	129	酵素反応

番号	研究キーワード
130	共焦点顕微鏡
131	電子顕微鏡
132	超薄膜
133	エネルギー全般
134	再生可能エネルギー
135	原子力エネルギー
136	太陽電池
137	太陽光発電
138	風力
139	地熱
140	廃熱利用
141	コージェネレーション
142	メタンハイドレート
143	バイオマス
144	天然ガス
145	省エネルギー
146	新エネルギー
147	エネルギー効率化
148	二酸化炭素排出削減
149	地球温暖化ガス排出削減
150	燃料電池
151	水素
152	電気自動車
153	LNG車
154	ハイブリッド車
155	超精密計測
156	光源技術
157	精密研磨
158	プラズマ加工
159	マイクロマシン
160	精密部品加工
161	高速プロトタイピング
162	超精密金型転写
163	射出成型
164	高速組立成型
165	高速伝送回路設計
166	微細接続
167	バーチャルリアリティ
168	ヒューマンセンタード生産
169	複数企業共同生産システム
170	品質管理システム
171	低エントロピー化指向製造システム
172	地球変動予測
173	地震
174	火山
175	津波
176	土砂災害

番号	研究キーワード
177	集中豪雨
178	高潮
179	洪水
180	火災
181	自然災害
182	自然現象観測・予測
183	耐震
184	制震
185	免震
186	防災
187	防災ロボット
188	減災
189	復旧・復興
190	救命
191	消防
192	海上安全
193	非常時通信
194	危機管理
195	リアルタイムマネージメント
196	国土開発
197	国土整備
198	国土保全
199	広域地域
200	生活空間
201	都市整備
202	過密都市
203	水資源
204	水循環
205	流域圏
206	水管理
207	淡水製造
208	湧水
209	延命化
210	長寿命化
211	コスト縮減
212	環境対応
213	建設機械
214	建設マネージメント
215	国際協力
216	国際貢献
217	地理情報システム (GIS)
218	交通事故
219	物流
220	次世代交通システム
221	高度道路交通システム (ITS)
222	走行支援道路システム (AHS)
223	交通需要マネージメント

番号	研究キーワード
224	バリアフリー
225	ユニバーサルデザイン
226	輸送機器
227	電子航法
228	管制
229	ロケット
230	人工衛星
231	再使用型輸送系
232	宇宙インフラ
233	宇宙環境利用
234	衛星通信・放送
235	衛星測位
236	国際宇宙ステーション (ISS)
237	地球観測
238	惑星探査
239	天文
240	宇宙科学
241	上空利用
242	海洋科学
243	海洋開発
244	海洋微生物
245	海洋探査
246	海洋利用
247	海洋保全
248	海洋資源
249	深海環境
250	海洋生態
251	大陸棚
252	極地
253	哲学
254	心理学
255	社会学
256	教育学
257	文化人類学
258	史学
259	文学
260	法学
261	経済学

(別添3)

目 名	内 容
(国の機関の場合)	
非常勤職員手当 諸謝金  試験研究旅費  外国旅費  委員等旅費 外国技術者等招へい旅費 招へい外国人滞在費 外来研究員等旅費  試験研究費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤として採用する者(教員、研究員等)に対する手当</li> <li>・推進委員会等の会議出席に対する謝金</li> <li>・外部協力者の講演、原稿の執筆協力等に対する謝金 (但し、研究実施者は除く)</li> <li>・常勤職員の国内出張(調査、実験、研究集会への出席等)に係る旅費</li> <li>・常勤職員の外国出張(調査、実験、研究集会への出席等)に係る旅費</li> <li>・推進委員会等の会議出席に係る旅費</li> <li>・外国人研究者の招へいに係る旅費</li> <li>・招へい外国人研究者の滞在に係る経費</li> <li>・非常勤職員の国内及び外国出張に係る経費</li> <li>・外部有識者の試験研究等(調査、実験)に係る旅費</li> <li>・調査研究等の実施に係る経費</li> <li>・推進委員会等の会議開催に係る経費</li> <li>・国内での特許出願に係る経費</li> <li>・非常勤職員に係る社会保険料等</li> </ul>
(国の機関以外の場合)	
科学技術総合研究委託費	人件費(教員、研究員等)、賃金(アルバイト)、備品費、試作品費、消耗品費、通信運搬費(電話料・郵便等送料)、借損料(機器借料)、旅費、滞在費、会議開催費(会場借料、会議費、通信費、資料印刷費)、諸謝金、雑役務費(役務費)、印刷製本費、消費税、技術料、一般管理費(直接経費の10%を上限とする)